



### 神奈川縣に新道路施工せ

努力可致候云々（千葉縣安房郡佐久間村道路愛護會長福原徳太郎）

られん

### 東北地方

#### 秋田縣懸案の國道鋪装

#### ちかく着工す

秋田縣仙北郡大曲町多年の懸案たる國道鋪装工事はいよいよ消雪を待つて施行するところとなり、過般の豫算町會で地元負擔金一萬壹千七百二十六圓五十錢以内を縣に寄附することを可決した。大曲驛前から裁判所前まで千五百九十三メートルを幅員六メートルにコンクリート鋪装を行ふもので總工費三萬三千四百五十三圓を要する路線である。

#### 千葉縣下道路愛護會表彰の感謝

（省略）先般紀元の佳節に當りては多數優秀なる道路愛護會ある内より特別なる御審議にて破格の表彰に預り會員一同にも其旨御傳へ申候處一同感謝致申候元來當村は山間の僻村にて唯今こそ村内を縣道貫通致し居るも十年前迄は狭い村道にて延長四里八分に亘り、泥濘膝を没するの状態にて屈曲甚敷雨天時は泥濘膝を没するの状態にて剩へ入口の勝山地域は斯る道路なるも地元にて改修せず殆んど困り時に村内總

事變勃來以來京濱工業地帶と横須賀方面との關係は急激に密接化し兩地點間の交通輸送量は今や飽和狀態に達したので茲に現在の交通線たる省線（横須賀線）湘南電鐵湘南バス國道三十一號線（杉田—金澤—横須賀—三崎）の外に新しく横濱—鎌倉、鎌倉—三崎、逗子—田浦の三線を改修して横濱、鎌倉、逗子、田浦を連結する大道路工事計畫を決定した、この總延長は十六キロ餘り工費總額百八十萬圓であるがその内譯は左の通り△横濱鎌倉線延長八キロ工費四十六萬圓△鎌倉三崎線四・〇六キロ七十二萬圓△逗子田浦線四キロ七十萬圓。

## 北陸地方

### 富山縣下富岩道路の擴張

#### 施工

富山の外港東岸瀬港と富山市を聯繫する富岩道路は富岩運河地帶に幾多工場が新設され北陸における重工業地帶として素晴らしい飛躍をとげ同道路の交通量の輻輳は現幅員十一メートルでは狭隘を告ぐるにいたつたので、都市計畫富山地方委員會では幅員を十八メートルに擴張することと決定した、なほ東岸瀬から水橋にいたる越の松原道路の現幅員六メートルを一メートルに擴張、海岸線沿ひの歩道として縣民體位向上のうへに大きな役割をなさうとしてゐる、殊に將來これを滑川魚津にまで延長の計画が立てられてゐるなど明粧富山の實現に力強さを與へてゐる。

### 富山縣下上橋の竣工

地方通信

富山縣下縣道高岡、水見線小矢部川の二上橋は架替工事竣工したので三月十二日から自動車その他一般人馬の通行を許可した

### 石川縣下林道二十五線の開鑿を見んとす

「林業石川」建設を目指して縣では明年度事業として九萬一千餘圓を投じて二十五本の林道を開鑿することになった、右のうち産業獎勵林道として開鑿されるものは十

八本で幅員二・四メートル乃至三メートル、總延長二萬四千四百二十七メートルに達し、なほ東岸瀬から水橋にいたる越の松原道路の現幅員六メートルを一メートルに擴張、海岸線沿ひの歩道として縣民體位向上のうへに大きな役割をなさうとしてゐる、殊に將來これを滑川魚津にまで延長の計画が立てられてゐるなど明粧富山の實現に力強さを與へてゐる。

一圓を費し開鑿し一千町歩の山林を開發することになつてゐる。このほか小林道十數本をも計畫してゐる。之れにより縣下林業の開發視るべきものあらん。

## 東海地方

### 三重縣の長野崎トンネルの竣工近く

特定府縣道津、奈良線中の最難峻たる勢賀國境地點海拔四百七十五メートルの布引連峰をぶち抜いた長野崎トンネル工事は極めて順調に進捗しこのほど殆んど全工程完成を告げた、同トンネル工事は一昨年十月末安川組請負のもとに着工し早くも昨年六月二十一日夕刻導坑貫通、その位置は舊トンネルより十五メートルの下位で延長三百メートル、幅員六メートル（有效五メートル五〇）高さ四メートル八二、路面は全部コンクリート鋪装、巻揚げも殆どコンクリ

トで一部堅固な岩盤箇所はそのままとなり、將來國道編入と省營バスの運轉を見込んで設計されたものだけにすべて新

道路法に基づいて土木工學の粹をつくし道

路隧道としてはかつて見ない精緻な規模を極めたもので使用火薬一千五百貫、從業延

人員六萬三千人、總工費十萬圓を要し東西

入口鋪装の上方には佐藤縣知事が健筆を振つた「長野隧道」の四字が雄渾の輝きを誇

る。なほこの長野隧道はトンネル

を中心としてすでに吉澤組の手によつて完

成されてゐる西口から阿山郡阿波村地内の不動橋まで一千メートル餘と前記東口六百メートルと合して二千メートル餘の大工事

でその總工費二十五萬圓を要したものであ

る。

## 四 國 地 方

### 高知縣の道路愛護作用

高知縣下に於ては國民精神總動員第三回勵勞奉仕の精神を昂揚し道路愛護の目的を貫徹する所があつた。即ち小林知事を先頭に各部長、關係課長等第一線に立ちて愛護作業の完璧を期する事となつた、作業日は午前七時當の場所に集合東方を遙拜したる後國歌を齊唱し默禱の後會長および立會者の挨拶あり直に作業を開始する事になつて居るが作業場では管内學校生徒、消防組員、道路愛護會員、男女青年團員等が參加して土木出張所主幹および支廳土木課長等が指導監督に當るはすである、作業は

一、道路、橋梁、側溝、街路樹並木、道路元標、道路標識、里程標、道シルべの新設修理清掃美化  
二、路面の修理、路肩の雜草刈除芝の刈取、道路面の手入、排水の整備  
三、崩土の取除、砂利採取運搬その他交通障害物の除去

## 九 州 地 方

### 大分縣下小松橋竣工

大分縣では輝く興亞の春指定府縣道森長線は縣北宇佐大平野の中央を流るゝ驛館川と併行し本縣を南北に結ぶ一大幹線にして、地方開發上極めて重要路線とす本路線中小松橋は驛館川の河口豊前長洲町と柳ヶ浦村との境に架設せらるゝ縣内三大橋の一にして字佐、中津高田、四日市方面との道路交通の要衝に當り極めて重大使命を有するも本橋は明治三十六年の架設に係り數度の災害に遭遇し橋體甚だしく腐朽し應急修理に依り僅かに交通に便し來たるも近時自動車交通の繁劇と重量貨物の運搬に依り到底時代に順應し得ざるの状態にありて縣民多年

適宜選擇して行つて多大の効果を收めた

之が架換を熱望して止まざりしも縣財政の都合上容易に之が着工の機運に至らず偶々政府に於て地方更生産業振興土木事業の計畫せらるゝを期とし昭和十一年度豫算の議決を經て國庫の補助を受け昭和十二年一月本橋の架換に着手し此程之が竣工を見るに至れり此の間内務省御當局の御助勢と地元關係町村並に工事關係者各位の御配慮並に御努力に依り一名の負傷者をも出さざりしは洵に感謝に堪へざる所なり新橋の概況は左記の通にして幅員廣闊、構造堅牢、規模の宏壯なること縣下に冠たるものにして交通の安全を確保し地方産業の進展に寄與する所大にして其の壯大なる偉觀は驛館川の互流と融和して地方の名勝として永久に其の威容を謳はれるものと信ずるに本川上流の拜田橋、瀬社橋架換成り今亦本橋の竣工に依り愈々交通の完璧を期するに至れり。

### 記

路線名 指定府県道森長洲線  
工事箇所 宇佐郡柳ヶ浦村界驛館川筋

地方通信

施工者	大分縣直營
起工	昭和十二年一月
竣工	昭和十四年一月
橋種	鐵筋コンクリート單桁橋及
橋長	二四一、四米
有效幅員	二桁五、二米連
橋面	三、二米連
取付道路	一桁五、〇五米連
車道	二、〇〇米
步道	一、〇〇米
橋臺	重力式コンクリート橋臺二基
橋脚	鐵筋コンクリート橋脚土臺
橋面	車道アスファルト乳劑鋪裝
取付道路	歩道コンクリート鋪裝
有效幅員	延長二〇七、六米
路面構造	アスファルト乳劑鋪裝
工事費	一九二、三九二圓
就労人員數	三〇、五〇〇人

### 鹿兒島縣下待望の三道路

設三道路の完成近づいた即ち大正三年大爆發の踏まだ生々しい櫻島の裾をめぐつて袴腰より垂水町にいたる、熔岩道路は約十年の歲月を費していまや湯元、古里間（諸説負）古里、辰崎間（直營）の一部を残すのみとなつたが、大隅半島災害地復舊事業應援のため一時遅延してゐた發破作業もその終了とともに再び進歩、いよいよ三月十五日開通式を擧げる運びとなつた、同道路竣工後は絶好の觀光縣をもつて目されてゐる薩摩半島を貫く動脈指宿街道の癌となつてゐた谷山町平地内千百四十六メートルを暗渠四・五メートルより七メートルに擴張、絶壁を削り暗渠を作つた谷を掩ひ平坦で直ぐな良道に改修する工事はすでに三つの多い同街道に安全さを増すこととなつた昭和十一年度より工事を續けてゐる縣道川内、宮之城線上東郷村内三千五百メートルの羊腸たる道路を改修する工事は工費六萬

二千圓を費していよいよ近く其の竣工を見ることとなつた。

### 朝鮮地方

#### 朝鮮平安南道の金山道新設せられんとす

朝鮮平安南道では總督府の產金増産の方針にもとづき本年度十五萬三千圓をもつて寧遠郡永樂、成龍間十五キロの金山道路を新設したが、明年度においてはさらに工費十一萬六千圓をもつて同郡大興、小白間十六キロの金山道路を新設することになつた

#### 朝鮮内で自動車營業者から道路使用料を徵收す

昨年公布された朝鮮道路令は鮮内道路の整備擴充を目指し産業振興の基礎工作に資するとともに軍事上警備上の重大な役割をはたさしむることとなり、鮮内の國道、地

方道府邑面道の廢合改修維持に年額二百萬圓の巨費を投じてゐるが、今回この修繕維持費の一部を最大利用者たる自動車使用者

に負擔せしめて受益負擔の均衡を期すこととなり、四月一日から朝鮮最初の道路使用料を全鮮の自動車三人乗りのダットサンから積載量一トン以上のトラックまで一齊に課すこととなり總督府で目下着々準備を進めつゝある。三人乗りのダットサンを一〇とすれば六人乗りの普通自動車は一・五、七人乗以上のバスは二・〇、一トン以下のトラックは三・三、一トン以上積載のトラックは三・九といつた割合で、その使用ガソリンは五十五圓賦課され、一年七十萬圓の總額となる見込みである。

### 滿洲地方

#### 滿洲に千二百杆の新道路現はれん

日本移民の二十ヶ年百萬戸入植計畫と關聯し交通部では本年度は約二百萬圓を計上して北滿の三江、牡丹江、吉林、濱江、龍江、問島の各省一帶に亘り約二十路線延長一千二百キロの新道路を建設することに決定した。尙開拓道路の建設は昭和十二年を初年度として着工、現在までに千四百キロの竣工を見て居り本年度の工事が豫定通り進捗するとせば開拓における新道路は一躍三千六百キロとなるわけである。